

博報財団 第9回「国際日本研究フェローシップ」成果報告書

I. 研究概要

氏名(在住国名)	(ロシア)ウエイベルグ・ナデジダ
所属	イルクーツク国立言語大学
招聘回(招聘研究期間)	第9回(2014年9月1日～2015年8月31日)
受入機関	東京外国語大学
招聘研究テーマ	ビジネス日本語における敬語とロシア語の敬意表現対照分析: 成功したビジネス・コミュニケーションの確立と維持するための実践的な推奨
研究目的	<p>本研究の主な目標は日露ビジネス・コミュニケーションの確立、維持するための実践的な方法を決定し、記述することである。そのため、(1) 日本語とロシア語における言語丁寧さ、ポライトネスの対照分析を行い、(2) ビジネス・コミュニケーション場面で使用されるいくつかの方略を決定し、(3) ビジネス・コミュニケーションで広く使われる「同僚、取引先、顧客などの相手との会話にほめ言葉・お世辞を使用する」という方略に関するインタビュー調査を行っている。日露ビジネス・コミュニケーションにおけるほめ言葉・お世辞について日本人とロシア人のビジネス関係者に同様な質問をし、文字化した答えの重要なコンセプトをグループにまとめ、「グラウンデッド・セオリー」(Grounded Theory) (Strauss, Corbin 1998) に基づいて分析を行っている。</p> <p>調査では実際の異文化間ビジネス関係者の意見と答えを分析した上で、日本人とロシア人のビジネス場面で広く使用される方略の類似点と相違点、お互いのコミュニケーションに対する期待を明確にする目的である。</p>
研究概要:	<p>本研究では、隣国である日本とロシアとのビジネス場面での相互理解を高めるため、協力的な関係を維持するのに使用できる言語のポライトネス、日本語とロシア語の丁寧さの対照比較を行い、ビジネス場面で広く使用されるコミュニケーション方略をいくつか考察し、その中の一つ、「同僚、取引先、顧客などの相手との会話にほめ言葉・お世辞を使用する」という方略を調査の上で分析している。</p> <p>現在、日露ビジネス・コミュニケーションに関する研究はほとんど行われていないが、両国文化におけるコミュニケーションの方法は数多くの特色を持っている。本研究では言語丁寧さの対照分析、日露ビジネス・コミュニケーションに使用される方略、「同僚、取引先、顧客などの相手との会話にほめ言葉・お世辞を使用する」という方略の具体的な調査を行っている。その基に日露ビジネス関係者の実際のコミュニケーションの例を分析し、両国のビジネス・コミュニケーションの似ている、異なる面を明確にしている。</p> <p>ビジネス場面でのほめ言葉・お世辞は日露コミュニケーションにどのように使用できるかという実践的な使用に関する注意点とモデルケースを示し、日本側に対し有効な、あるいは有効ではない表現や態度、ロシア側に対し有効な、あるいは有効ではない表現や態度を明らかにし、これから、他のいくつかのビジネス・コミュニケーションの方略に関する同様の調査を行い、異文化間ビジネス場面や国際プロジェクトの遂行場面などで日露ビジネス関係者が実践的に使用できる日露メンタリティに基づいた言語方略に関する解説書を作成する予定である。</p>
展望:	<p>本研究の結果は日本語とロシア語の学習者、通訳者、ビジネス関係者等に有益となり、日本語学習過程、日露通訳練習過程、更に将来の日本語研究(特にビジネス日本語)、日露ビジネス・コミュニケーションの社会言語学の研究に役立つと期待できる。本研究のテーマは日本とロシアの科学的、文化的、経済的な相互交流をより活性化するために実践的な価値を持ち、将来性のある科学の分野であると考えられる。</p>